

大学・社会での学習の仕方を考える

—自分の力で多様な選択肢のある人生を歩もう—

学校法人 有朋学園
有朋高等学院 理事長
林 明夫

1. はじめに

- (1) 高校での学習や活動は、大学や社会ですべて役に立ちます。
- ① 教科書・教材・ノートはすべて保存し、生涯にわたって折に触れて読み直し、高校での学習を基本に関連する学習を積み上げてください。素晴らしい人生が歩めます。
 - ② よくわからないことがあったら高校の学習に立ち戻り、学習し直すことです。
 - ③ 高校の教科書は、絶対に処分しないでください。(「一生の宝物」です)
- (2) 本日は、高校卒業後に大学や社会で学習するときの方法、ポイントを具体的にお伝えします。
- (3) 大学や社会での学習の仕方を身に着け、自分の力で人生の選択肢を広げてくださいね。

2. 大学、短期大学、専門学校での学習と生活

- (1) どのような科目を履修(選択して学習)し、どのように学習するか。
- ① その学校の教育のしくみを「履修案内」などをよく読んで「理解」し、自分で考えながら「履修」する。
 - ② 「履修の届出」には期限があります。期限内に必ず登録の手続きを。
 - * 「web 登録」が多いので、よくわからなかったら「学生相談室」などでわかるまで・登録できるまで質問を。
 - ③ 「第1期」に何の科目を取り、「第2期」「第3期」に何の科目を取るかをよく考えること。
 - ④ 大学、短期大学、専門学校の授業は1年を2～3つに分けて、1期で「90分×15回」で2単位が多い。
 - * 1回90分の授業について、倍の180分(3時間)の予習や復習を図書館・自宅・研究室などで行うこと。すべての授業はそれを前提に行われます。
 - * 月～土曜日まで1回90分の授業を朝から夕方まで入れることは避けましょう。
 - ⑤ 試験は厳格。予習や復習をよく行わないと単位を落とし、再履修となります。
 - ⑥ レポートは期限内に必ず出すこと。いろいろなホームページで調べたことをそっくり出すことは避けること。

- ⑦わからないことがあったら、礼を尽くした上でどんどん質問すること。
- ⑧大学図書館や公共図書館を使いこなそう(大半の勉強は図書館で行うのが大学生)
- ⑨知り合いや励まし合う仲間をつくり情報交換を。

(2) 少しずつ自活した生活を

- ①下宿やアパートは学校に近いところを。
- ②食事は栄養のバランスを考え、できるだけ自分でつくる。
- ③部屋の掃除、片付け、ゴミ出しなどはこまめに行う。
- ④規則正しい生活を(目覚まし時計は「2つ」)。
- ⑤アルコールとタバコに注意(手を触れないのも1つの生き方)。
- ⑥時々はリラックスを(散歩、小旅行…)。公園や美術館の年間会員になって毎週でも訪問しよう。
- ⑦ゲームやコンピュータ(ipod やメール)に時間をとられすぎないように。
- ⑧時々保護者に連絡を。
- ⑨他の大学とも交流を(他大学のコミュニティ・カレッジ、公開講座)。
- ⑩余裕があったら、内容をよく調査してゼミやクラブ活動にも参加を。

(3) 就活

- ①アイウォッチ、スマホ、タブレット、PC はすべて「同期化」して使いこなす。英語(TOEIC)とコンピュータ(ワードやエクセル)は必須。大学3年生の秋になってからスタートしたのでは間に合わないことが多いので、高校生である間に猛勉強を。
- ②新聞を毎日読んで社会の動きを知り、自分自身の考え方をまとめ、文章や口頭で表現できるまでにしておくこと—「スクラップブック」をつくろう。
- ③どんな職種でも最も望まれるのは、「打って出る」人材、「自律的に行動」できる人材。
*「読書」により「思慮深さ」を身に付けておくこと—「書き抜き読書ノート」をつくろう。

3. 職場での活動・生活

- (1) 企業の創業の精神と沿革、社会的使命(ミッション)を熟知し、プロフェッショナルを目指す高い志を持つ。
- (2) 仕事はメモで身に着ける。大切なことはすべてノートにメモをし続け、何回も読み直して、すべて自分のものにすること。「ノート」は宝物。一生大事にし、読み直すこと。
- (3) 仕事は手順、段取り、プロセスが大事。
 - ①「段取り八分」…よい仕事ができるか否かは準備で決まる。
 - ②今日一日、どのような順序で仕事をするかよく考える。
 - ③必要な準備は前日の夜までに終了させておく。「ノート」にその内容を書き続ける。

(4) 必要な資格を少しずつ取得すること。

- ① まずは、定評あるテキストをゆっくり、1語1語かみしめながら「声を出して読む」(音読)。
- ② よくわからない語句は辞書で調べる。繰り返しテキストを学習し直し、シミからシミまで覚える。そのために、「音読練習」、「書き取り練習」、「計算・問題練習」の「定着のための3大練習」を。

* 「練習は不可能を可能にする」。

- ③ 過去問集5年分を5回やり直し、合格点を目指す。

* 試験直後は頭がさえ渡っているのに、更に高度な学習に挑戦を。

(5) 仕事のスキルを上げるには

- ① 社内、同業他社、異業種のベストプラクティス(最も優れた実例)のベンチマーク(素直な心で学ぶ)を。
- ② 自分の得意分野、自分の潜在能力を遠慮しないで自分の力で探し、どんどん伸ばす。
- ③ 世界最高レベルの勉強を(放送大学やwebでも可能)。

(6) 職場での人間関係を築くためには

- ① 元気なあいさつ。あいさつはこちらからすること。きちんとした服装も大事です。
- ② 職場や他人の悪口を言わない(意見は丁寧な表現で述べる)。
- ③ 職場や他人のよい点を探す。よい点を探して高く評価、ことばに出してほめること。
- ④ お客様第一(顧客本位)。

* 感謝の心

4. おわりに

(1) 有朋高等学院は皆様の母校。同窓生は一生の友達、先生方は一生の恩師。友情を大切に。困ったことがあったら先生方に相談を。

(2) 人生は長いので、思いつめないこと。自分や他人をあまり責めないこと。自分なりの人生をゆっくりと送ること。

(3) 教育ある人とは一生学習し続ける人のこと。一生勉強、一生青春。「有朋」の校名は「論語」に由来。「論語」の学習も一生続けて、よい人生、よい生き方を目指してくださいね。

以上

卒業おめでとうございます。

